



Japanese Society for Food Hygiene and Safety

第114回

日本食品衛生学会 学術講演会

会期 平成30年 **11月15日(木)~16日(金)**

会場 **広島国際会議場 (平和記念公園内)**

講演会長 木村 凡 (東京海洋大学教授, 食品衛生学会会長)

実行委員長 中野宏幸 (広島大学教授, 食品衛生学会 中国・四国ブロック長)



シンポジウム

- ① HACCP制度化の最新情報
- ② 食の国際化におけるG-GAPの有用性
- ③ HACCP制度化に伴う食品施設の衛生管理と迅速検査
- ④ 食品事業者のHACCPへの取り組み

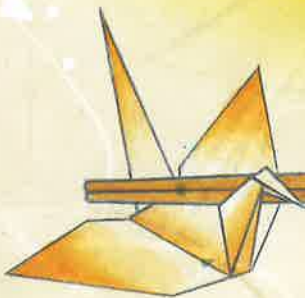
「2020年に向けた食の安全への取り組み」

教育講演

- ① **新しい原料原産地表示**
石黒 厚 [イカリ消毒]
- ② **栄養成分検査と精度管理**
竹林 純 [国立健康・栄養研究所]
- ③ **食品安全委員会における新しい食品健康影響評価の流れ**
佐藤 洋 [内閣府食品安全委員会]
- ④ **広島発の食品製造技術“凍結含浸法”**
坂本宏司 [広島国際大学]
- ⑤ **西日本で多発する麻痺性貝毒**
西尾幸郎 [四国大学]

一般研究発表 (口頭, ポスター)

ランチョンセミナー, 技術セミナー,
展示, 懇親会 (11月15日, 同会場)



お問い合わせ

日本食品衛生学会 第114回学術講演会実行委員会 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-6-1 食品衛生センター内
Tel 03-3470-2933 Fax 03-3470-2975 E-mail koenkai@foodhyg.or.jp